

事業報告書

1 支援団体名	NPO法人 白川流域リバーネットワーク	
2 事業名称	水防災プロジェクト in 白川	
3 支援金額	200,000円	
4 実施日時	通年実施	
5 実施場所	熊本 白川流域（メイン活動場所：熊本市）	
6 事業目的、内容及びその効果	<p>（事業実施状況・内容）</p> <p>1. 【防災出前講座（初級）の開催】 ※災害に対する準備・心構えや災害発生時・河川事故時の対応など防災全般についての講座を開催し、地域・学校など各コミュニティにおける自助・共助の再生を支援する。 参加者（小学生～消防局職員）により、講習会の内容を分けて組み立て平日～1日の期間で講習を行った。また、県外（長崎県・本明川）でも講習を実施した。 ○内容：水防災講座、危険予知トレーニング、川の安全講習など</p> <p>2. 【水防災・河川活動リーダー講習会の開催】 ※河川管理者や河川をフィールドとして開催する各種イベントの主催・運営関係者に企画・運営する場合の安全対策講習会（机上・体験）を開催し、救助哲学と危険回避の基礎技能の取得を支援する。 河川管理者やNPO団体、一般からの参加が中心であった。川を用いた洪水の模擬体験は河川管理者から好評であった。 ○内容：基本泳法、浅瀬横断、救命救助講習、スローバック講習など</p> <p>3. 【救助技能取得講習会の開催】 ※災害全般・水難事故等に対応できるレスキュー技能取得者の人材育成と活動チームを編成し、水防協力団体（熊本市への申請・指定）として河川巡視・捜索救助など水防活動に参加し、地域防災力の向上を支援する。 ○内容：水難救助講習、ロープ救助講習（全米防火協会基準）など</p> <p>4. 【防災用備品・救助器材の備蓄】 ※災害発生時や水難事故等の救助に必要な備品・器材を購入・備蓄し、リバーネット参加団体等が催す各種イベントで使用・紹介し、災害発生を想定した訓練を実施する。 ○内容：大鍋を用いた炊き出し訓練、救助ロープ資機材の保有と訓練</p> <p>5. 【イノベーション（新機軸）構築と推進】 ※国・自治体と連携した防災分野における新しいシステムを構築するため、行政と市民団体等が求める事項を集積・整理する会議を開催すると共に消防・警察等と協力し、合同で救助訓練・技術交流会を開催し、救助技術の向上及び新技術の紹介と普及を図る。 ○内容：ワークショップ、救助技術交流会、情報伝達・参集訓練など 水防災プロジェクトで活動した1年間の振り返りと今後の防災活動について考え、行動が出来るように「第3回水防災プロジェクト in 白川」（水防災ワークショップ）を実施。消防職員、河川管理者、住民、NPO団体等色々な立場の人で、プロジェクトに対する評価や今後の動きを考えた。 ワークショップの中では、行政（河川管理者、消防職員、自治体）や財団、市民の活動（NPO）からの発表、防災の専門家からの基調講演、鼎談を行いながら、参加者らの意見を聞きながら今後の対応や活動計画を考えた。</p> <p>（事業実施効果） <事業の有効性>近年急増している水害や水難事故への早急な対策が必要とされている。特に、ハードの整備や公助だけでは十分な対策が取れないのが現状である。 そのため、流域住民が水害や水難事故に備えて「自助」「共助」に必要な意識、知識、技術の向上を目的として本プロジェクトを進める。 <事業の独創性>単なる座学としての講習会だけではなく、洪水時の流水体験や水難事故の防止のため、河川を模擬体験の場所として現地体験型の講習を行う。また、これらの講習会には専門的な資格、知識、経験を有するインストラクターにより実施する。 また、効果のある減災や防災活動には持続的な活動が必要とされている。そのため、本プロジェクトではPDCAプランによる持続的な活動マネージメントを計画して実施している。（Plan(計画)、DO(実施)、Check(評価)、Act(改善)）</p>	
7 参加内訳	総人数	614名
	（1）主催者参加	114名
	（2）日本人参加（（1）を除く）	500名
	（3）外国人参加（（1）を除く）	名
8 今後の方針	<p>○住民が水害に対する「意識の向上」、「知識の向上」、「技術の向上」を図るため持続的に活動を実施する。本年度と同程度の内容で実施。 ○地域の防災リーダーを育成するため、自主防災クラブ等を対象として講習会を実施する。実施する仕組みづくり。 ○スタッフ、講師の不足のため、現在の回数以上の講習会実施が難しい。安全確保と充実した講習内容で実施するためには多くのスタッフが必要である。 そのため、技術を持つスタッフの人材育成を行う。</p>	

平成 21 年 4 月 25 日「水防災・河川活動リーダー講習会」の様子



(座学) 危険予知トレーニング、洪水時の危険について



(現地体験) ロープを用いた救助や水に流された時の対応、浸水場所からの避難方法を指導

平成 21 年 6 月 5 日「救助技能取得講習会」の様子



浅瀬横断法、救助訓練



ボートを用いた救助実演

平成 21 年 10 月 4 日「水防災出前講座」の様子



消防局・水難事故のレスキューについて
(初期対応の方法)



ロープを用いた救助方法